

# 令和4年度築上町地方創生・人口減少対策本部 ワーキンググループ（第1回）

日時：令和4年7月13日（水）16：00～

場所：会議室3-1、3-2

## 1 開会

## 2 議題

（1）経緯・現状の説明（事務局）

**資料1** 地域経済分析システム（リソース） 築上町サマリーデータ

**資料2** 福岡県内60市町村人口推移  
（2015年国勢調査／国立社会保障・人口問題研究所推計値との比較）

**資料3** 京築地域2市2郡コーホート変化率（2015年→2020年） 比較一覧

（2）ワーキンググループ運営方針・スケジュール（予定）について（事務局）

**資料4** ワーキンググループ運営方針

（3）その他

## 3 閉会

《次回開催予定日》

日時：令和4年8月 日（ ）

場所：会議室3-1、3-2



# 地域経済分析システム

Regional Economy Society Analyzing System

築上町 サマリーデータ

URL : <https://summary.resas.go.jp/summary.html>

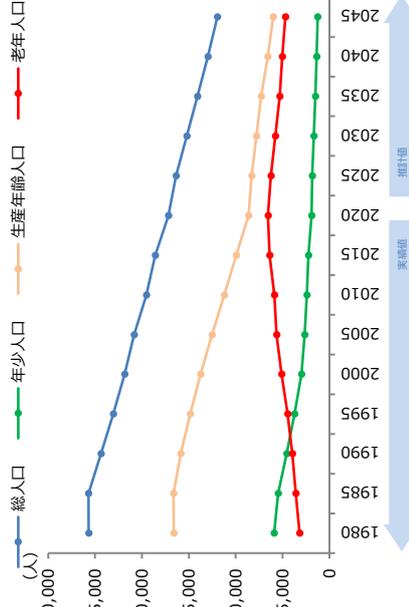
出力日 : 令和4年6月22日

資料 1

①人口推移

人口マップ>人口構成 → ①人口推移

- ・総人口と年齢3区分別人口の推移を示しています。
- ・「総人口のピーク」「老年人口の増加傾向」等、自地域の人口変化の概要を把握できます。

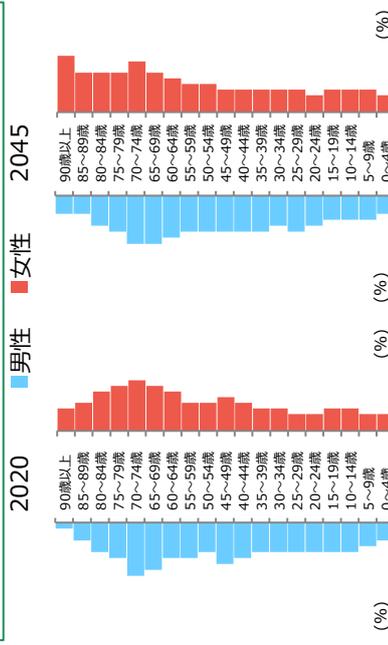


【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
 【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

②人口ピラミッド

人口マップ>人口構成 → ②人口ピラミッド

- ・男女別・5歳階級別にピラミッドで表示しています。
- ・将来の高齢者層の大きさ、生産年齢人口の減少等も視覚的に把握することができます。

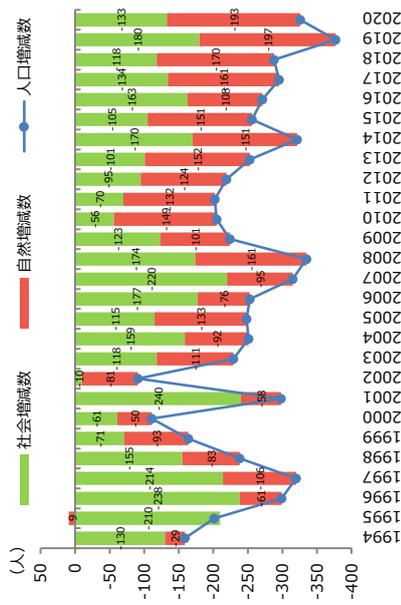


【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
 【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

③自然増減・社会増減の推移

人口マップ>人口構成 → ③グラフを表示

- ・現在までの人口推移に「出生・死亡による自然増減」「転入・転出による社会増減」の2つの要因が与えた影響を確認できます。



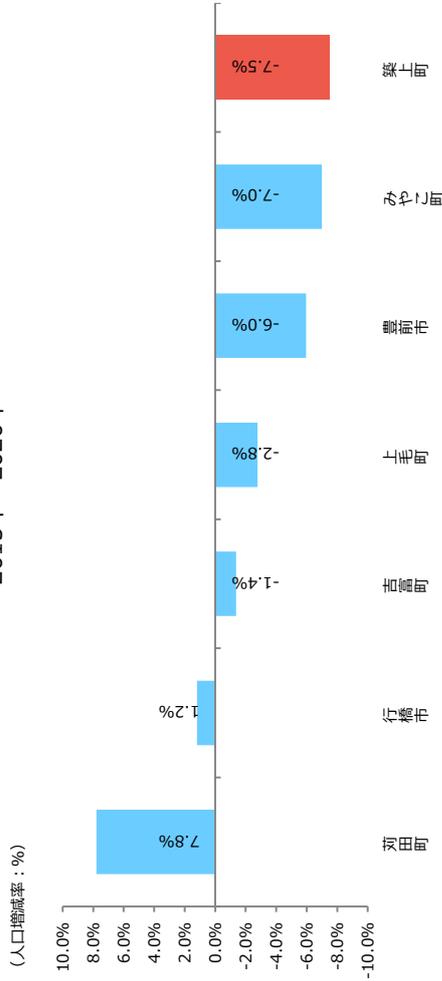
【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工  
 【注記】2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

④人口増減率の比較

人口マップ>人口構成 → (グラフ・データより作成)

- ・人口増減率について、自地域の水準を把握することができます。
- ・人口増減の状況について、他地域（最大30地域）との比較により、自地域の立ち位置を確認できます。

2015年→2020年



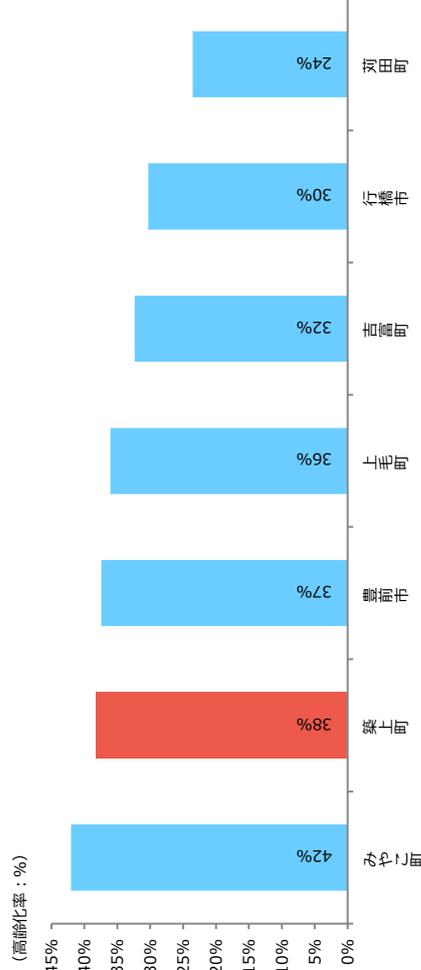
【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

⑤高齢化率の比較

人口マップ>人口構成 → (グラフ・データより作成)

- ・高齢化率について、自地域の水準を把握することができます。
- ・高齢化の状況について、他地域（最大30地域）との比較により、自地域の立ち位置を確認できます。

2020年



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



# 各論① 人口増減・地域間流動

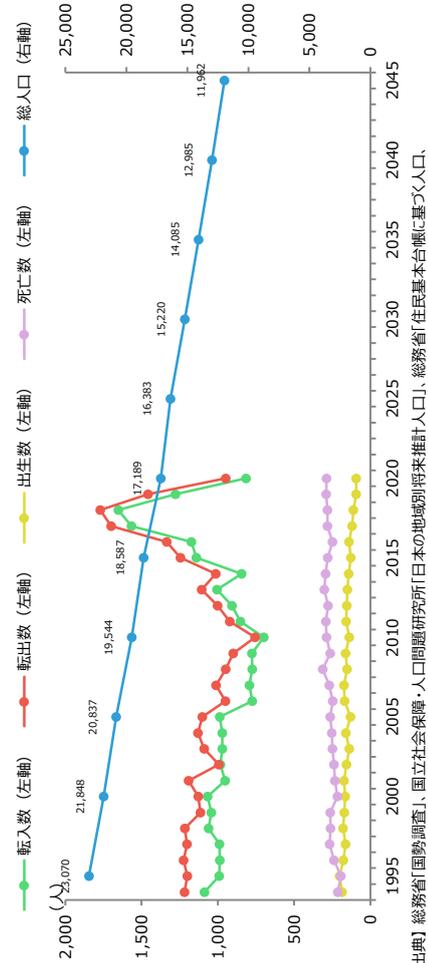
## 転入・転出、通勤通学による人口流動等、周辺地域とのつながりを人口の面から概観します。

## 福岡県築上町

### ① 出生数・死亡数 / 転入数・転出数

人口マップ>>人口増減 → ①グラフ表示

- ・総人口の増減要因である、出生数・死亡数、転入数・転出数の推移を示しています。
- ・出生数と死亡数の推移から自然増減への対策、転入数・転入数の推移から社会増減への対策等、人口増減に対する政策検討の方向性を検討する基礎的な材料となります。

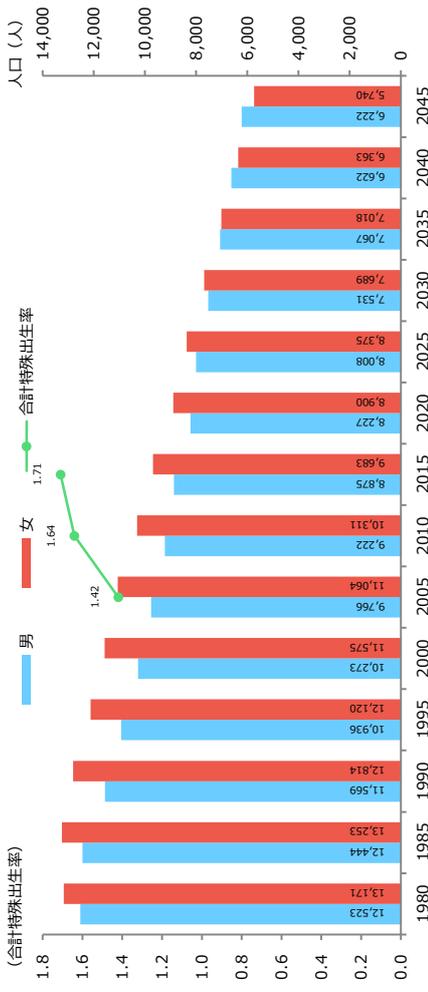


【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」  
 【注記】2015年までは「国勢調査」のデータに基づき実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づき推計値。

### ② 男女別人口・合計特殊出生率の推移

人口マップ>>人口の自然増減 → ②「合計特殊出生率・人口推移」

- ・男女別の人口推移と合計特殊出生率を示しています。
- ・合計特殊出生率は自然増減（出生数）に直結する指標であり、低下傾向にある場合には、婚姻率の向上、女性の地元定住促進、子育て支援等、政策面での対応が必要と考えられます。

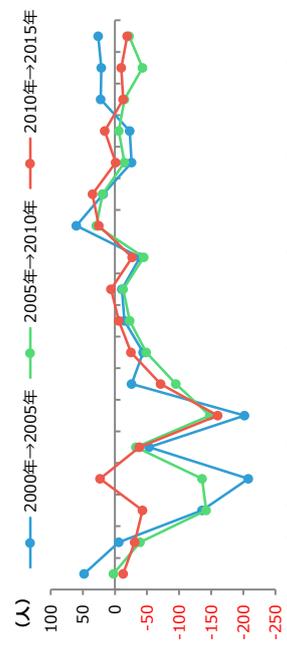


【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
 【注記】2015年までは「国勢調査」のデータに基づき実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づき推計値。

### ③ 年齢階級別純移動数の時系列推移

人口マップ>>人口の社会増減 → ③「人口移動 (グラフ分析)」

- ・社会増減の状況を年齢階級別に示しています。
- ・自地域が労働力に大きな影響を与える生産年齢層の社会移動の経年変化等を把握できます。

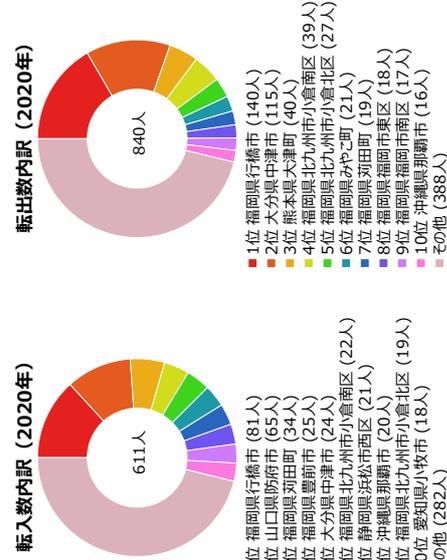


【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「労働力調査」に基づきまとめたこと制生本部作成

### ④ 転入数・転出数の上位地域

人口マップ>>人口の社会増減 → ④「From-to (居住人口)」

- ・直近時点で転入数・転出数の多い地域を示しています。
- ・自地域が吸引力を有している地域、流出抑制を検討すべき地域等を把握できます。

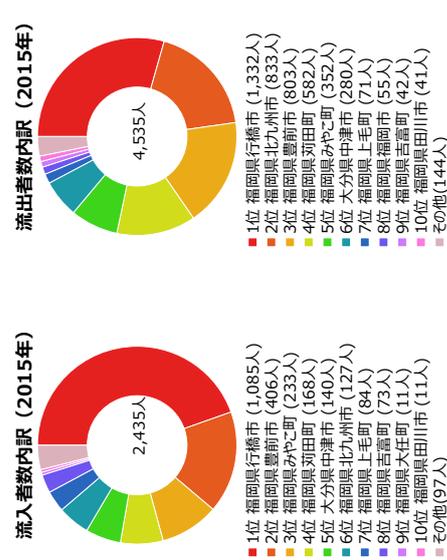


【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

### ⑤ 流入者数・流出者数の上位地域

人口マップ>>通勤通学人口 → ⑤「地域間流動をグラフで見ると」

- ・直近時点で流入数・流出数の多い地域を示しています。
- ・自地域が吸引力を有している地域、流出抑制を検討すべき地域等を把握できます。



【出典】総務省「国勢調査」

## 各論② 産業特性（製造業）

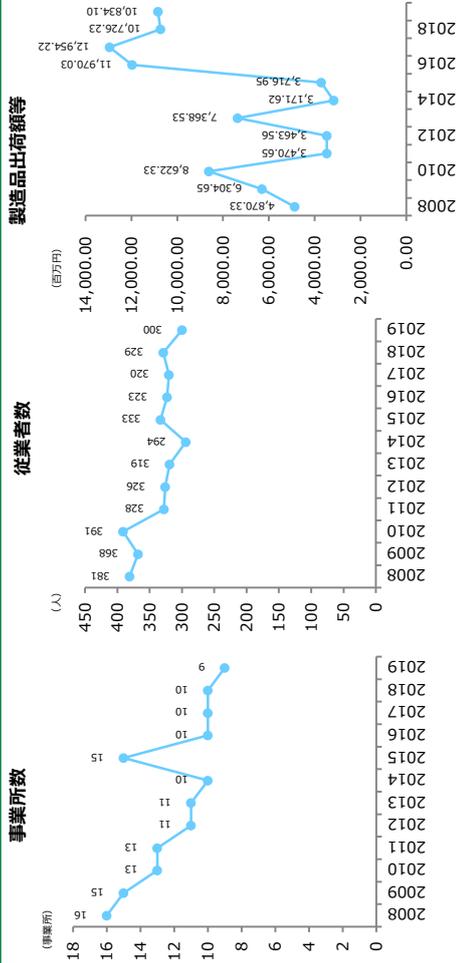
### 製造業の特徴を、規模・稼ぐ力・効率性の観点から産業中分類別に概観します。

### 福岡県築上町

#### ①事業所数・従業員数・製造品出荷額等の推移

産業構造マップ>製造業>製造業の構造 → ①「時系列グラフで分析」

- ・製造業全体の事業所数、従業員数、製造品出荷額等の推移を概観します。

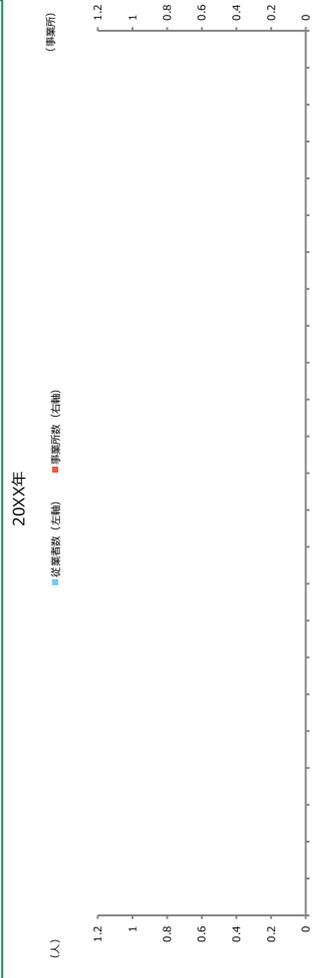


【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」  
【その他の留意点】従業員数4人以上の事業所が対象。

#### ③産業中分類別従業員数・事業所数

産業構造マップ>製造業>製造業の構造 → ③「時系列グラフで分析」 → (グラフノードをクリック作成)

- ・自地域における製造業の産業中分類別従業員数および事業所数を概観します。
- ・従業員数が多く事業所数の少ない産業は、一般に大規模工場等の存在する産業となります。

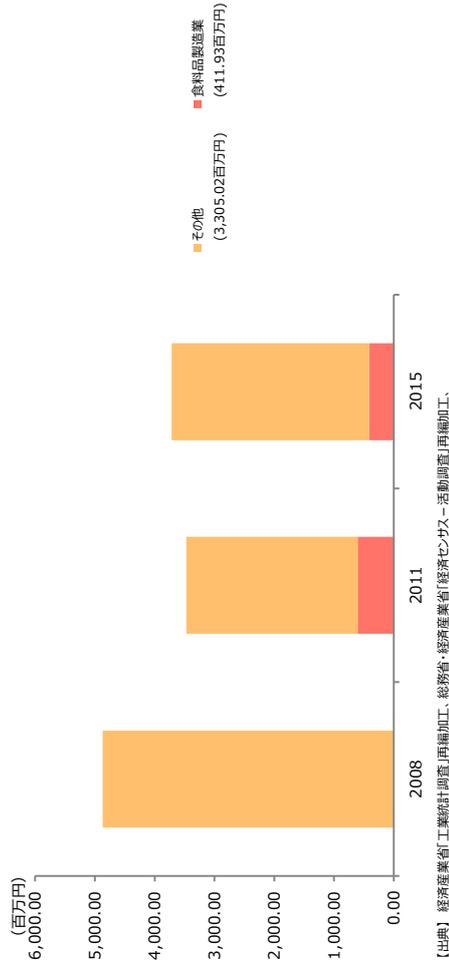


【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」  
【その他の留意点】従業員数4人以上の事業所が対象。

#### ②産業別製造品出荷額等の変化

産業構造マップ>製造業>製造業の構造 → ②「産業構造変化を分析（特定年間）」

- ・産業中分類別の製造品出荷額等の推移を示しています。
- ・出荷額の大きな産業の把握や各産業における製造品出荷額等の増加・減少傾向を概観できます。

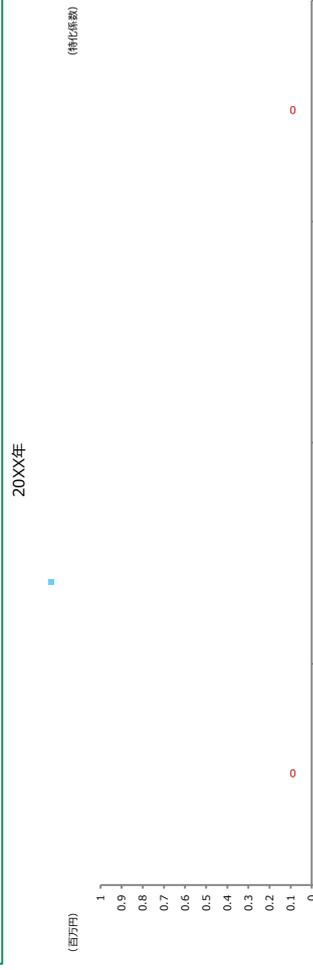


【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」  
【注記】凡例の数値は最新年の数値を指す。  
【その他の留意点】従業員数4人以上の事業所が対象。

#### ④産業中分類別製造品出荷額等

産業構造マップ>製造業>製造業の構造 → (グラフノードをクリック作成)

- ・自地域において出荷額規模の大きな産業を概観します。出荷額が大きく、かつ特化係数が1より大きな産業は、規模・構成比の両面で主要な産業となります。



【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」  
【その他の留意点】従業員数4人以上の事業所が対象。

### 各論③ 産業特性（小売業）

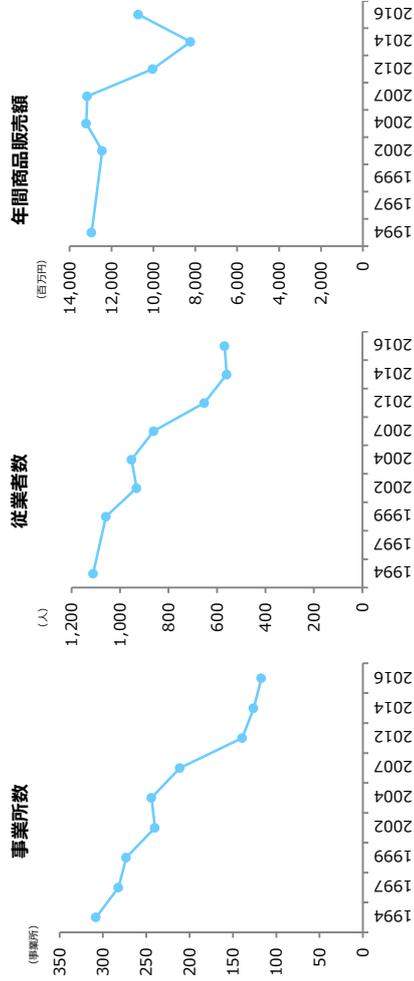
### 小売業の特徴を、規模・稼働率・効率的の観点から産業中分類別に概観します。

### 福岡県築上町

#### ① 事業所数・従業員数・年間商品販売額の推移

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → ⑧「産業構造変化を分析」

・小売業全体の事業所数、従業員数、年間商品販売額の推移を概観します。

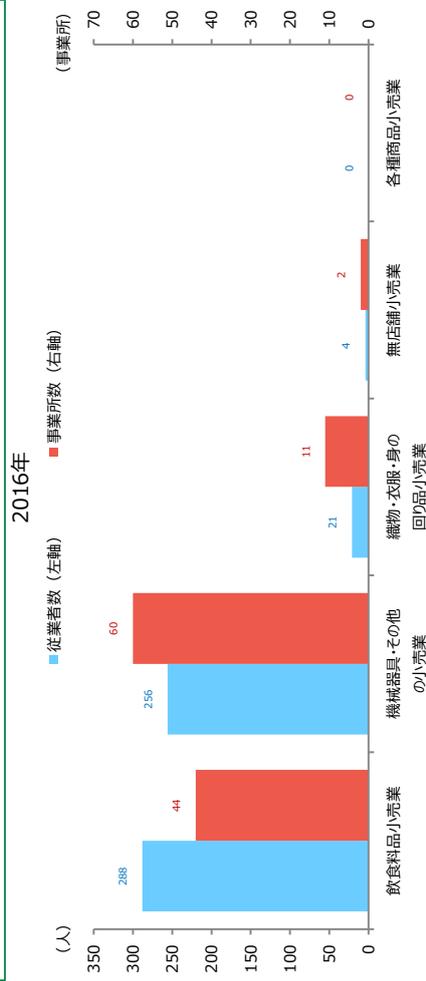


【出典】経済産業省「商業統計調査」 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」  
 【注記】2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス-活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単年に調査年間（表示年）の比較が行えない。

#### ③ 産業中分類別従業員数・事業所数

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → (クワトロ-データ作成)

・地域小売業の産業中分類別従業員数および事業所数を概観します。



【出典】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

#### ② 産業別小売業事業所数の変化

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → ⑧「産業構造変化を分析」

・小売業の事業所数推移を産業中分類別に示しています。  
 ・事業所数の多い産業の把握や各産業における事業所数の増加・減少傾向を概観できます。

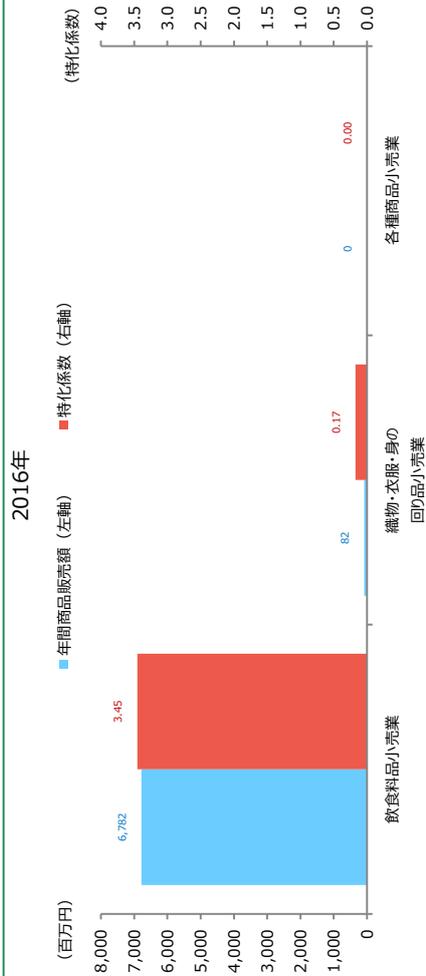


【出典】経済産業省「商業統計調査」 総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」  
 【注記】2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス-活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単年に調査年間（表示年）の比較が行えない。

#### ④ 産業中分類別年間商品販売額

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → (クワトロ-データ作成)

・産業中分類別の年間商品販売額の構成比から、地域において販売額規模の大きな産業を概観します。  
 ・特化係数が1よりも大きな産業は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な産業と言えます。



【出典】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

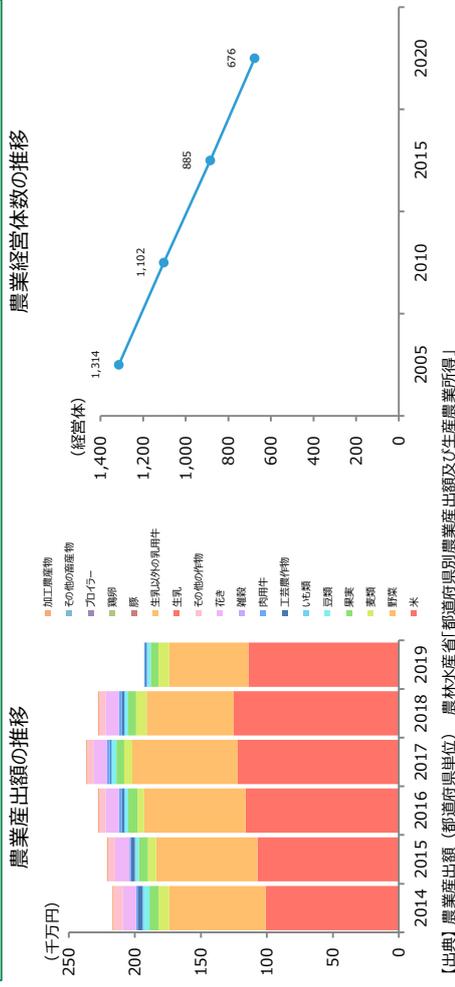
# 各論④ 産業特性（農業）

## 品目別農業産出額、就業人口、経営体規模等の観点から農業の特徴を概観します。

## 福岡県築上町

### ① 農業産出額・農業経営体数の推移

- ・農業産出額および農業経営体数の推移を表示しています。
- ・自地域における農業生産の拡大・縮小傾向を把握できます。



【出典】 農業産出額（都道府県単位） 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」  
 農業産出額（市区町村単位） 農林水産省「市区町村別農業産出額（推計）」  
 農業経営体数 農林水産省「農林業センサス」再編加工

### ② 品目別農業産出額

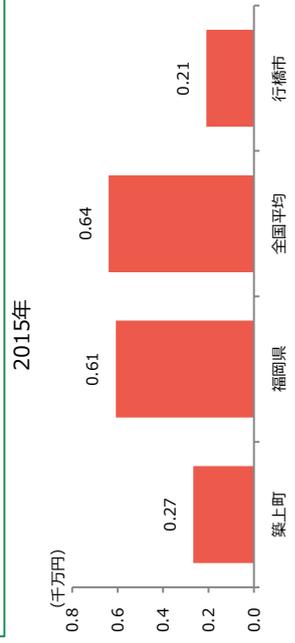
- ・品目別の農業産出額の構成比から、自地域において生産の大きな品目を概観します。
- ・産出額が大きく、かつ特化係数（自地域における品目Aの農業産出額構成比÷全国における品目Aの農業生産額構成比）も高い品目は、産出額・構成比の両面で特徴的な品目と言えます。



【出典】 都道府県単位 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」  
 市区町村単位 農林水産省「市区町村別農業産出額（推計）」  
 「その他の農産物」には、農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」及び「市区町村別農業産出額（推計）」で示される「鶏」から「鶏卵」と「ロイヤル」を減じた値を含む。

### ③ 経営体あたり農業産出額（地域間比較）

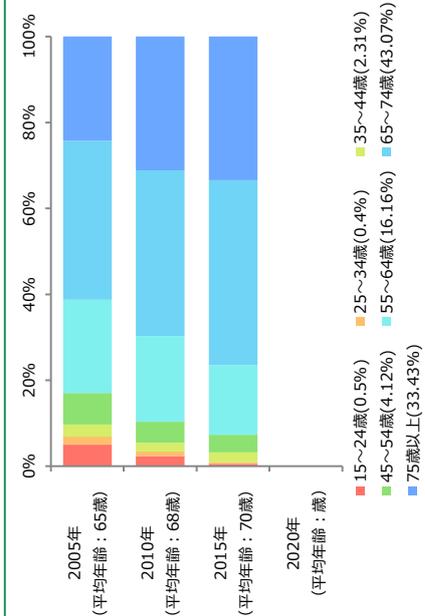
- ・経営体あたりの農業産出額を比較します。
- ・他地域と比較した自地域の農業の生産性の高低を概観できます。



【出典】 農林水産省「農林業センサス」  
 全国単位 農林水産省「農業総産出額及び生産農業所得」  
 都道府県単位 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」  
 市区町村単位 農林水産省「市区町村別農業産出額（推計）」  
 【注記】 1 経営体当たり農業産出額は、農業産出額を農業経営体数（家族経営体、組織経営体の合計）で除した試算値である。  
 農業経営体には、販売なしの経営体を含む。

### ④ 年齢階級別農業就業率と平均年齢

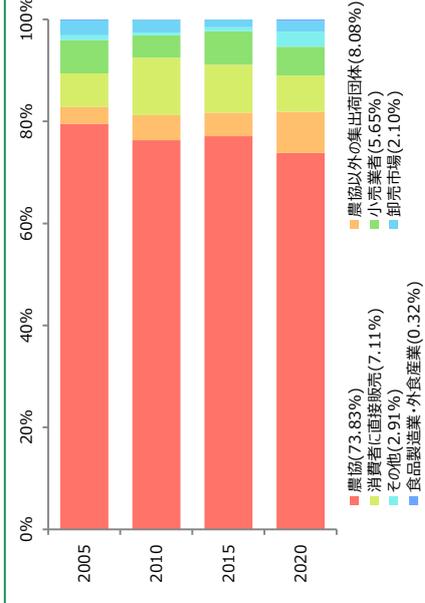
- ・年齢階級別にみた農業就業率を概観します。
- ・農業の担い手の高齢化等の状況を確認できます。



【出典】 農林水産省「農林業センサス」再編加工  
 【注記】 農業就業人口：農業従事者のうち、農業を主として従事した世帯員  
 凡例の数値は最新年の数値を指す。

### ⑤ 農産物の出荷先別経営体割合の推移

- ・農産物の出荷先別にみた経営体の構成比を比較します。
- ・自地域の農産物がどこに出荷されているかを概観できます。



【出典】 農林水産省「農林業センサス」再編加工  
 【注記】 凡例の数値は最新年の数値を指す。



# 各論⑥ 産業特性 (水産業)

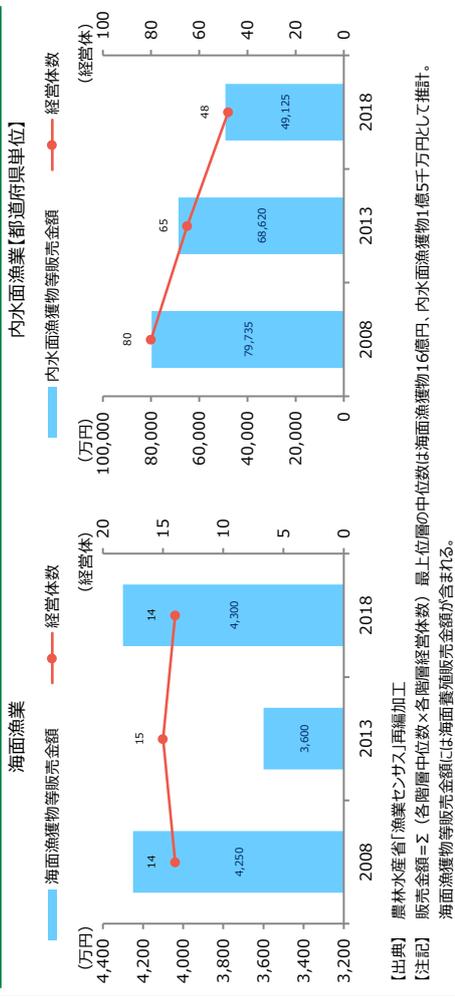
## 海面・内水面漁業の特徴を、販売金額・経営体数等により概観します。

## 福岡県築上町

### ① 漁獲物等販売金額・漁業経営体数の推移

産業構造マップ>>水産業>>海面漁獲物等販売金額 → ①「グラフを表示」(クワンロードデータより作成)  
産業構造マップ>>水産業>>内水面漁獲物等販売金額 → ②「グラフを表示」(クワンロードデータより作成)

- 海面漁獲物等販売金額と経営体数、および内水面漁獲物等販売金額と経営体数の推移を表示しています。
- ・拡大・縮小傾向を、販売金額と経営体数の変化から概観します。

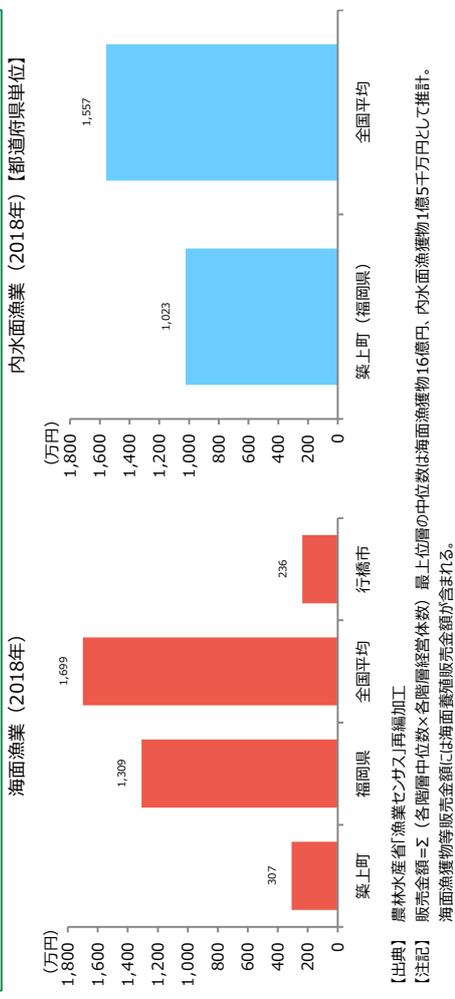


【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工  
【注記】 販売金額＝Σ (各階層中位数×各階層経営体数) 最上位層は海面漁獲物1億5千万円として推計。  
海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。  
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額(湖沼における養殖の収穫物を含む。)及び内水面養殖販売金額の計である。

### ② 経営体あたり漁獲物等販売金額 (地域間比較)

産業構造マップ>>水産業>>海面漁獲物等販売金額 → ③「グラフを表示」(クワンロードデータより作成)  
産業構造マップ>>水産業>>内水面漁獲物等販売金額 → ④「グラフを表示」(クワンロードデータより作成)

- 海面漁業、内水面漁業のそれぞれについて、経営体あたりの漁獲物等販売金額を比較します。
- ・自地域の水産業の生産性の高低を概観できます。

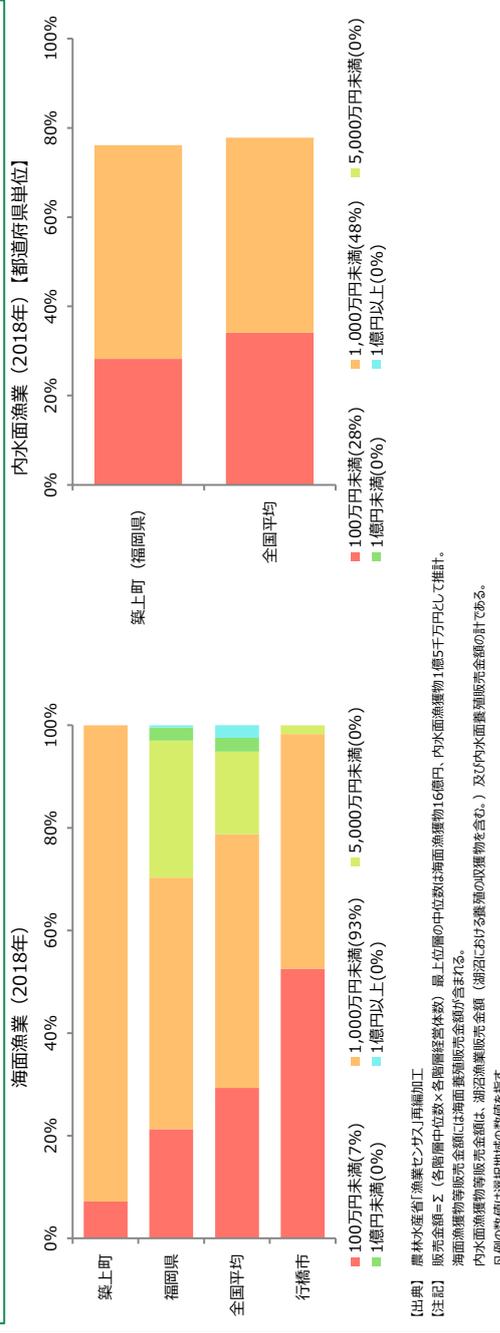


【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工  
【注記】 販売金額＝Σ (各階層中位数×各階層経営体数) 最上位層は海面漁獲物1億5千万円として推計。  
海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。  
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額(湖沼における養殖の収穫物を含む。)及び内水面養殖販売金額の計である。

### ③ 漁獲物等販売金額帯別経営体割合 (地域間比較)

産業構造マップ>>水産業>>海面漁獲物等販売金額 → ⑤「グラフを表示」  
産業構造マップ>>水産業>>内水面漁獲物等販売金額 → ⑥「グラフを表示」

- 海面漁業、内水面漁業のそれぞれについて、漁獲物等販売金額帯別にみた経営体の構成比を地域間で比較します。
- ・自地域の経営体の経営規模を販売額の大きさの観点から概観できます。

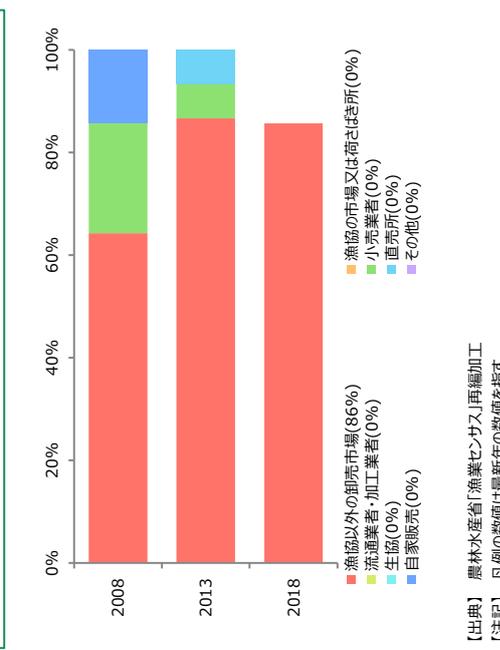


【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工  
【注記】 販売金額＝Σ (各階層中位数×各階層経営体数) 最上位層は海面漁獲物1億5千万円として推計。  
海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。  
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額(湖沼における養殖の収穫物を含む。)及び内水面養殖販売金額の計である。  
凡例の数値は選択地域の数値を指す。

### ④ 海面漁獲物等出荷先別経営体数の割合

産業構造マップ>>水産業>>海面漁獲物等販売金額 → ⑦「漁獲物等出荷先別販売金額」(クワンロードデータより作成)

- 海面漁獲物の出荷先別経営体数割合の推移を示しています。
- ・販路拡大、流通チャネル分析等の基礎となる情報です。



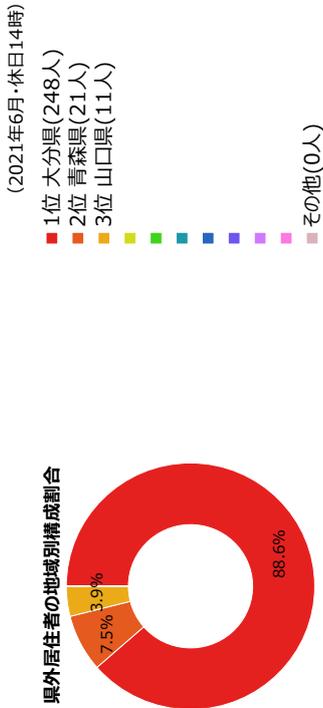
【出典】 農林水産省「漁業センサス」再編加工  
【注記】 凡例の数値は最新年の数値を指す。

①(日本人)休日14時に指定地域に滞在した人口の居住都道府県別割合

まちづくりマップ>From-to分析 (滞在人口) → ⑧(グラフを表示)

- ・休日14時に自地域に滞在した県外居住者について居住都道府県別構成比を示しています。
- ・休日中にどこからの訪問者が多いのかを把握できます。

滞在人口合計：14,239人 (うち県外居住者：280人 県外割合：1.97%)

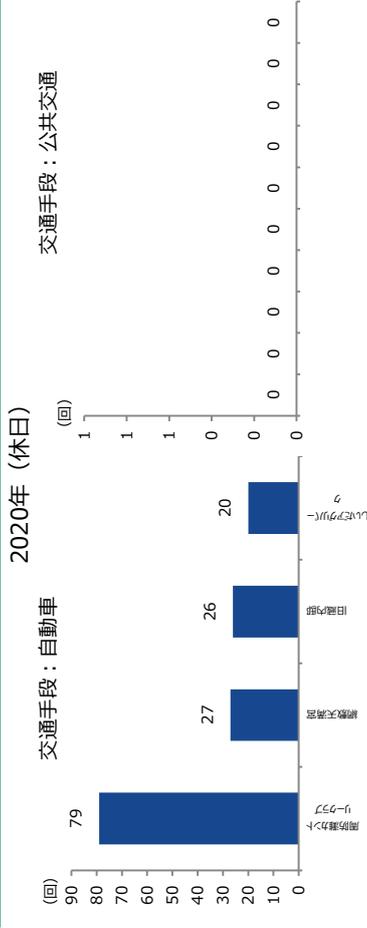


【注記】滞在人口とは、指定地域の指定時間(4時、10時、14時、20時)に滞在していた人数の月間平均値(平日・休日別)を表している。  
 滞在人口率は、滞在人口(株式会社NTTドコモ・株式会社NTTコム・株式会社ドコモ・インサイトマーケティングモバイル空間統計)÷国勢調査人口(総務省「国勢調査」夜間人口)で表される。  
 15歳以上90歳未満の人口を対象。  
 携帯電話の運用データについては国籍に関わらず契約者のデータが使用されていることから、滞在人口の算出には国内に居住する外国人も推計して含まれている。

②観光施設等を目的地とした検索回数ランキング

観光マップ>目的地分析 → ⑧「目的地検索ランキング」を表示

- ・自地域の観光施設等で、経路検索サービスにおいて目的地として検索された回数の多いものを表示します。
- ・自地域において集客力のある観光施設を把握できます。

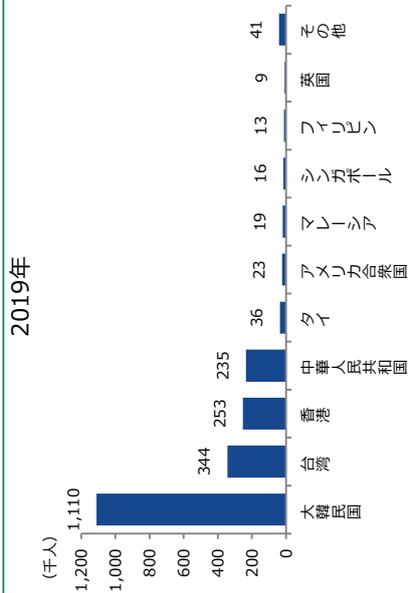


【出典】株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」  
 施設回数は、同一ユーザーの重複を除いた月間のユニークユーザー数。下記条件に全て該当した場合のみ表示。  
 ・施設が観光施設、観光資源、宿泊施設や温泉、広域からの集客が見込まれる「ジャー」施設や商業施設に該当  
 ・年間検索回数が自動車は500回、公共交通は30回以上  
 ・年間検索回数が全国1000位以内または都道府県別50位以内または市区町村別10位以内

③(外国人)指定地域への国・地域別外国人訪問客数(都道府県単位)

観光マップ>外国人訪問分析 → ⑧「指定した都道府県で分析する」

- ・外国人訪問客数を国・地域別に示しています。
- ・どこからの訪問客が多いのかを概観できます。

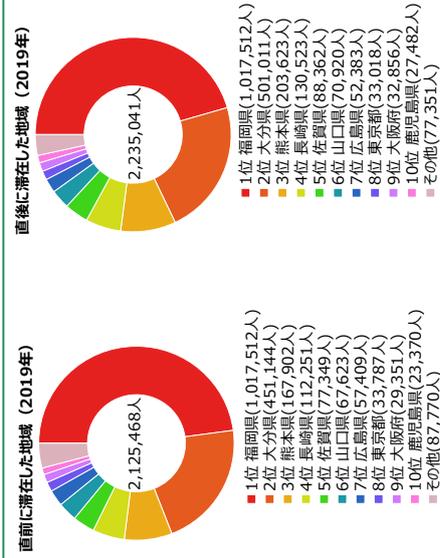


【出典】観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局 (NTO)「訪日外客数」  
 【注記】「地域別の訪日外客数」= 地域別の訪問客数(観光・レジャー目的)×訪日外客数×旅行目的別構成比(観光・レジャー目的)におおむね推計している。

④(外国人)指定地域への移動相関分析(都道府県単位)

観光マップ>外国人移動相関分析 → ⑧(グラフを表示)

- ・自地域に滞在した外国人訪問客が、直前・直後に滞在していた地域を示しています。周遊ルート等の検討に活用できる情報です。

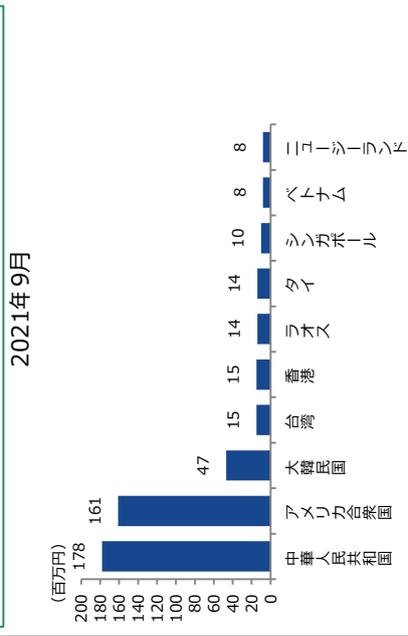


【出典】国土交通省「FF-Data (訪日外国人流動データ)」

⑤(外国人)指定地域内での国・地域別消費額(都道府県単位)

観光マップ>外国人消費額の比較 (クレジットカード) → ⑧「指定した都道府県で分析する」

- ・外国人によるクレジットカード消費額を国・地域別に示しています。
- ・どの国・地域からの訪問客による消費が活発なのかを概観できます。

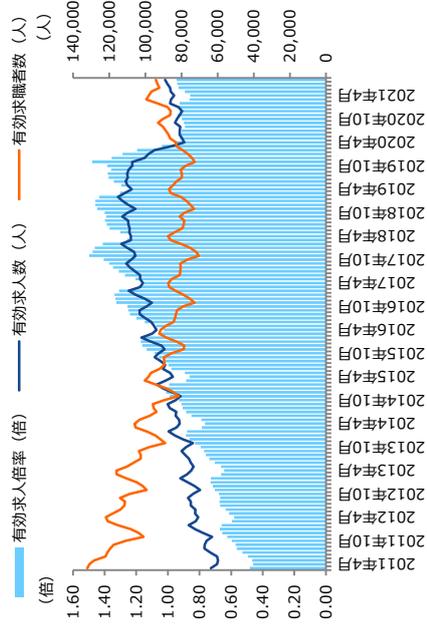


【出典】ビザワールドワイド・ジャパン株式会社「カードデータ再編加工」  
 【注記】消費額は、外国人訪問客がクレジットカードを使用した消費額を地域別のシェア率等から算出した金額。  
 国・地域は、カード所有者の居住地域であるため、観光客以外の永住者・定住者による消費額も含まれる。

①有効求人倍率の推移【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>有効求人倍率 → グラフを表示 (クワンデータより作成)

- 有効求人倍率、有効求職者数、有効求人倍率の推移を示しています。
- 自地域における雇用環境の変化を概観できます。

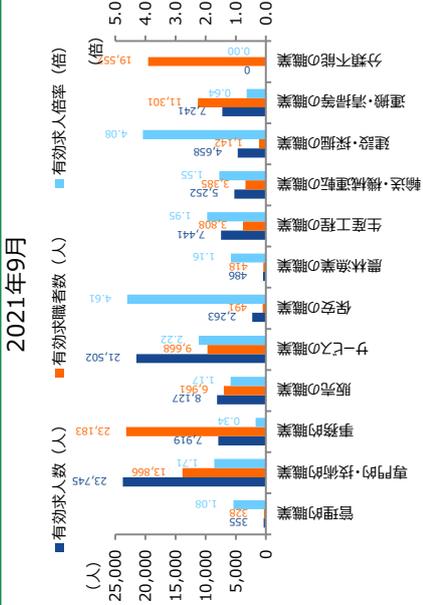


【出典】厚生労働省「職業安定業務統計」

②有効求人倍率（職種間比較）【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>有効求人倍率 → グラフを表示 (クワンデータより作成)

- 職種別に有効求人倍率、有効求職者数、有効求人倍率を比較します。
- 職種間の有効求人倍率の違いを概観できる他、求職者数と求人数のミスマッチが生じている職種とその大きさを確認できます。

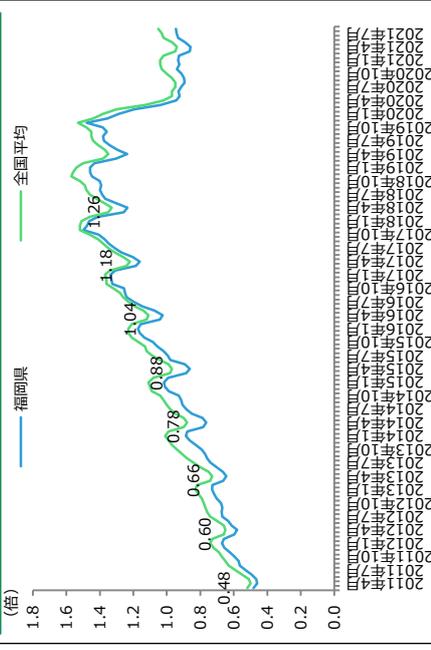


【出典】厚生労働省「職業安定業務統計」

③有効求人倍率推移（地域間比較）【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>有効求人倍率 → グラフを表示 (クワンデータより作成)

- 有効求人倍率の推移を全国、他地域等と比較しています。
- 自地域における雇用環境が全国や他地域と比較してどのような状況にあるのかを概観できます。

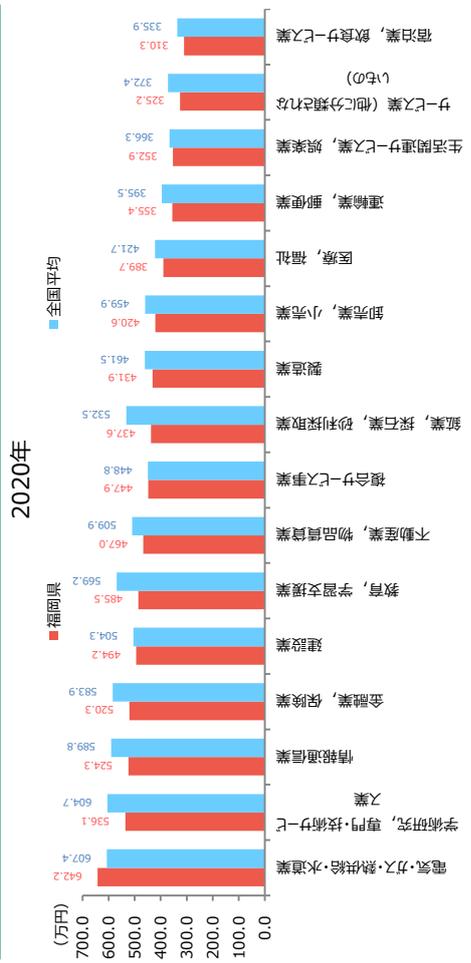


【出典】厚生労働省「職業安定業務統計」

④一人当たり賃金（産業間比較）【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>一人当たりの賃金 → グラフを表示 (クワンデータより作成)

- 産業別に一人当たり賃金を比較します。
- また、全国平均との比較により、全国よりも賃金水準の高い産業・低い産業を概観できます。

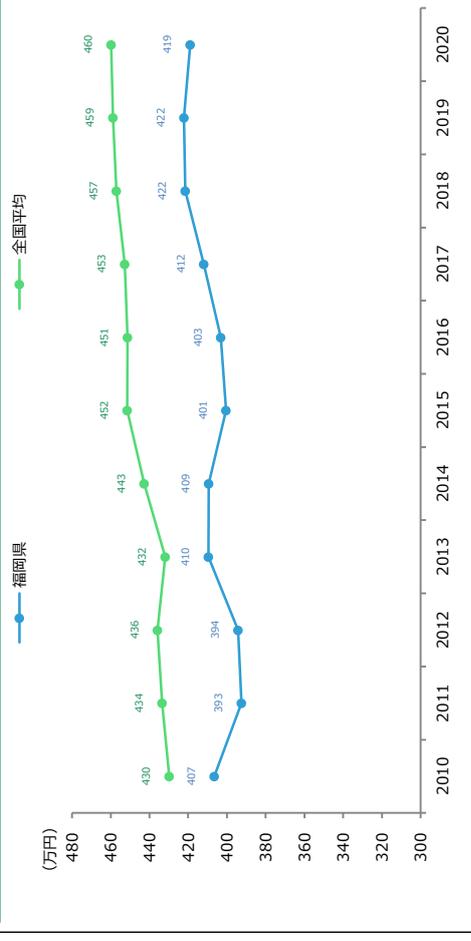


【出典】厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

⑤一人当たり賃金（地域間比較）【都道府県単位】

産業構造マップ>雇用>一人当たりの賃金 → グラフを表示 (クワンデータより作成)

- 一人当たり賃金を地域間で比較します。
- 自地域における賃金の傾向把握の他、賃金に関する政策実施が与えた影響等の把握に利用できます。



【出典】厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

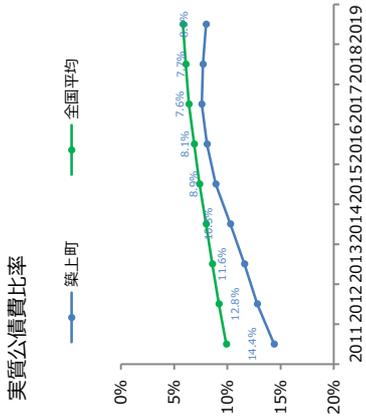
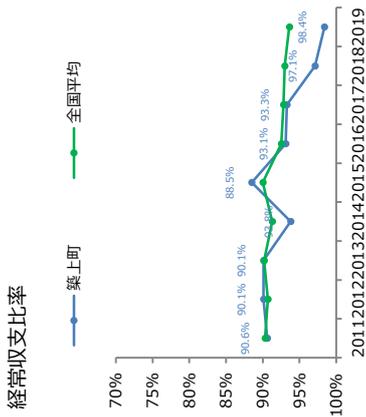
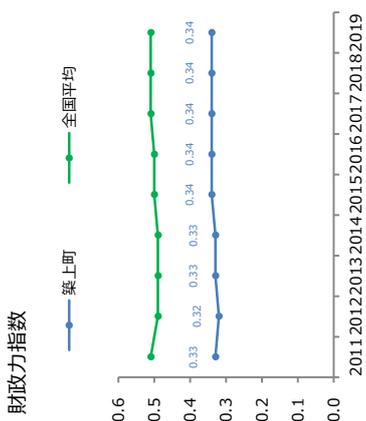
※本シートのグラフは、すべて都道府県単位の数値となります。



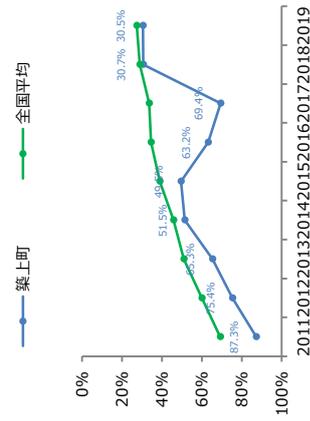
①各種財政指標の比較分析

地方財政マニア>自治体財政状況の比較 → 地域間で比較する

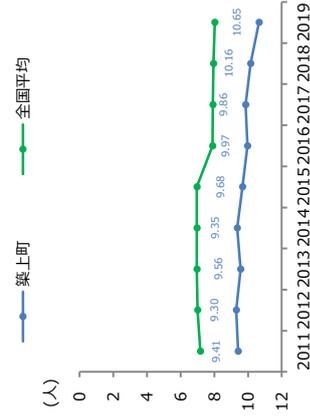
- 自治体の財政状況を示す主要な財政指標（財政力指数、実質公債費比率等）の推移を示しています。
- 全国平均との比較を行うことで、自地域の財政状況の健全度を分析することができます。



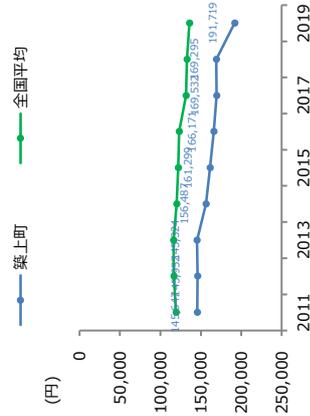
将来負担比率



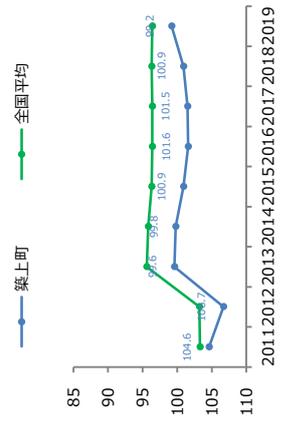
人口あたり職員数



人口1人あたり人件費・物件費等の決算額



ラスパイリス指数



財政指標	2019値	順位
財政力指数	0.34	都道府県内 50/60
経常収支比率	98.4%	52/60
実質公債費比率	8.0%	42/60
将来負担比率	30.5%	41/60
人口あたり職員数	10.65人	50/60
人口1人あたり人件費物件費等の決算額	191,719円	54/60
ラスパイリス指数	99.2	36/60

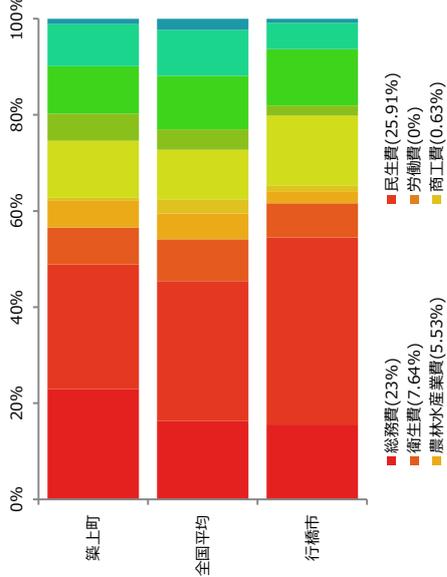
【出典】総務省「地方財政状況調査関係資料（財政状況資料集）」  
 【注記】人口あたり職員数：都道府県の場合は人口10万人、市町村（特別区を含む）の場合は人口千人あたりの職員数。

②目的別歳出決算額の比較

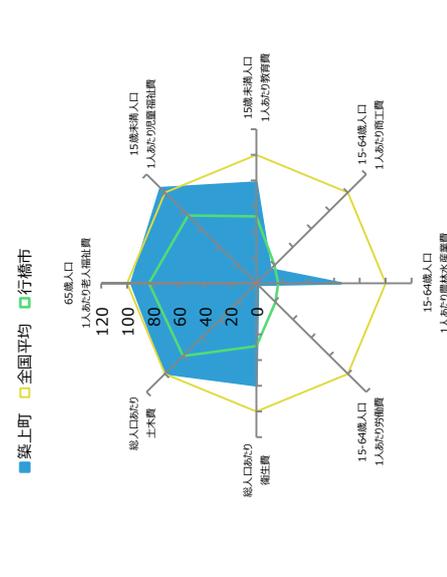
地方財政マニア>自治体財政状況の比較 → 目的別歳出を見る

- 自地域の歳出額を目的別に示しています。構成比および人口あたり水準の面から、自地域の歳出構成の特徴を概観することができます。

構成比の比較（2019年度）



人口あたり水準の比較（2019年度）



【出典】総務省「地方財政状況調査関係資料（財政状況資料集）」  
 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」  
 【注記】凡例の数値は選択地域の数値を指す。



福岡県内60市町村人口推移（2015年国勢調査／国立社会保障・人口問題研究所推計値との比較）

資料 2

↓2018年公表

	地域区分	過疎指定	【A】 【B】 【C】				2015年国勢調査との比較			2020年推計値との比較			備考
			2010年国勢調査	2015年国勢調査	2020年推計値	2020年国勢調査	C-A	人口増減率	増減率順位	C-B	Bからの乖離率	乖離率順位	
北九州市	北九州		976,846	961,286	938,897	939,029	-22,257	-2.3%	31	132	0.01%	44	
福岡市	福岡		1,463,743	1,538,681	1,600,759	1,612,392	73,711	4.8%	7	11,633	0.73%	35	
大牟田市	筑後	特定市町村	123,638	117,360	110,661	111,281	-6,079	-5.2%	43	620	0.56%	36	
久留米市	筑後		302,402	304,552	304,715	303,316	-1,236	-0.4%	23	-1,399	-0.46%	48	
直方市	筑豊		57,686	57,146	55,921	56,212	-934	-1.6%	28	291	0.52%	37	
飯塚市	筑豊	一部過疎	131,492	129,146	125,899	126,364	-2,782	-2.2%	30	465	0.37%	40	
田川市	筑豊	全部過疎	50,605	48,441	45,848	46,203	-2,238	-4.6%	39	355	0.77%	34	
柳川市	筑後	一部過疎	71,375	67,777	63,882	64,475	-3,302	-4.9%	41	593	0.93%	33	
八女市	筑後	全部過疎	69,057	64,408	59,961	60,608	-3,800	-5.9%	46	647	1.08%	32	
筑後市	筑後		48,512	48,339	47,876	48,827	488	1.0%	17	951	1.99%	20	
大川市	筑後		37,448	34,838	32,181	32,988	-1,850	-5.3%	44	807	2.51%	13	
行橋市	北九州		70,468	70,586	69,827	71,426	840	1.2%	16	1,599	2.29%	15	
豊前市	北九州		27,031	25,940	24,585	24,391	-1,549	-6.0%	47	-194	-0.79%	50	
中間市	北九州		44,210	41,796	38,908	40,362	-1,434	-3.4%	36	1,454	3.74%	9	
小郡市	筑後		58,499	57,983	57,214	59,360	1,377	2.4%	12	2,146	3.75%	8	
筑紫野市	福岡		100,172	101,081	101,294	103,311	2,230	2.2%	13	2,017	1.99%	19	
春日市	福岡		106,780	110,743	112,443	111,023	280	0.3%	20	-1,420	-1.26%	54	※人口増加の鈍化
大野城市	福岡		95,087	99,525	103,123	102,085	2,560	2.6%	8	-1,038	-1.01%	53	※人口増加の鈍化
宗像市	福岡	一部過疎	95,501	96,516	96,703	97,095	579	0.6%	19	392	0.41%	38	
太宰府市	福岡		70,482	72,168	73,277	73,164	996	1.4%	15	-113	-0.15%	46	※人口増加の鈍化
古賀市	福岡		57,920	57,959	57,922	58,786	827	1.4%	14	864	1.49%	25	
福津市	福岡		55,431	58,781	63,018	67,033	8,252	14.0%	1	4,015	6.37%	3	
うきは市	筑後	一部過疎	31,640	29,509	27,397	27,981	-1,528	-5.2%	42	584	2.13%	17	
宮若市	筑豊		30,081	28,112	26,652	26,298	-1,814	-6.5%	51	-354	-1.33%	56	
嘉麻市	筑豊	全部過疎	42,589	38,743	35,013	35,473	-3,270	-8.4%	57	460	1.31%	28	
朝倉市	福岡	一部過疎	56,355	52,444	48,660	50,273	-2,171	-4.1%	37	1,613	3.31%	10	2017年九州北部豪雨
みやま市	筑後	全部過疎	40,732	38,139	35,469	35,861	-2,278	-6.0%	48	392	1.11%	31	
糸島市	福岡		98,435	96,475	96,582	98,877	2,402	2.5%	10	2,295	2.38%	14	
那珂川市	福岡		49,780	50,004	49,917	50,112	108	0.2%	21	195	0.39%	39	
宇美町	福岡		38,592	37,927	36,959	37,671	-256	-0.7%	24	712	1.93%	21	
篠栗町	福岡		31,318	31,210	31,137	31,209	-1	0.0%	22	72	0.23%	41	
志免町	福岡		43,564	45,256	45,565	46,377	1,121	2.5%	11	812	1.78%	23	
須恵町	福岡		26,044	27,263	27,867	28,628	1,365	5.0%	6	761	2.73%	12	
新宮町	福岡		24,679	30,344	35,350	32,927	2,583	8.5%	3	-2,423	-6.85%	60	※人口増加の鈍化
久山町	福岡		8,373	8,225	8,393	9,068	843	10.2%	2	675	8.04%	2	
粕屋町	福岡		41,997	45,360	48,212	48,190	2,830	6.2%	5	-22	-0.05%	45	※人口増加の鈍化
芦屋町	北九州	全部過疎	15,369	14,208	13,012	13,545	-663	-4.7%	40	533	4.10%	6	
水巻町	北九州		30,021	28,997	27,714	28,114	-883	-3.0%	34	400	1.44%	27	
岡垣町	北九州		32,119	31,580	30,988	31,007	-573	-1.8%	29	19	0.06%	43	
遠賀町	北九州		19,160	18,877	18,414	18,723	-154	-0.8%	25	309	1.68%	24	
小竹町	筑豊	全部過疎	8,602	7,810	7,009	7,151	-659	-8.4%	56	142	2.03%	18	
鞍手町	筑豊	全部過疎	17,088	16,007	14,813	15,080	-927	-5.8%	45	267	1.80%	22	
桂川町	筑豊		13,863	13,496	12,992	12,878	-618	-4.6%	38	-114	-0.88%	51	
筑前町	福岡		29,155	29,306	29,248	29,591	285	1.0%	18	343	1.17%	30	
東峰村	福岡	全部過疎	2,432	2,174	1,958	1,899	-275	-12.6%	60	-59	-3.01%	59	2017年九州北部豪雨
大刀洗町	筑後		15,284	15,138	14,913	15,521	383	2.5%	9	608	4.08%	7	
大木町	筑後		14,350	14,176	13,960	13,820	-356	-2.5%	32	-140	-1.00%	52	
広川町	筑後		20,253	20,183	19,953	19,969	-214	-1.1%	26	16	0.08%	42	
香春町	筑豊	全部過疎	11,685	10,861	9,976	10,191	-670	-6.2%	49	215	2.16%	16	
添田町	筑豊	全部過疎	10,909	9,924	8,918	8,801	-1,123	-11.3%	59	-117	-1.31%	55	2017年九州北部豪雨
糸田町	筑豊	全部過疎	9,617	9,020	8,309	8,407	-613	-6.8%	52	98	1.18%	29	
川崎町	筑豊	全部過疎	18,264	16,789	15,209	15,176	-1,613	-9.6%	58	-33	-0.22%	47	
大任町	筑豊	全部過疎	5,503	5,176	4,775	5,008	-168	-3.2%	35	233	4.88%	4	
赤村	筑豊	全部過疎	3,251	3,022	2,832	2,774	-248	-8.2%	55	-58	-2.05%	58	
福智町	筑豊	全部過疎	24,714	22,871	21,091	21,398	-1,473	-6.4%	50	307	1.46%	26	
苅田町	北九州		36,005	34,963	33,615	37,684	2,721	7.8%	4	4,069	12.10%	1	
みやこ町	北九州	全部過疎	21,572	20,243	18,939	18,825	-1,418	-7.0%	53	-114	-0.60%	49	
吉富町	北九州		6,792	6,627	6,270	6,536	-91	-1.4%	27	266	4.24%	5	
上毛町	北九州	全部過疎	7,852	7,458	7,019	7,251	-207	-2.8%	33	232	3.31%	11	
築上町	北九州	全部過疎	19,544	18,587	17,516	17,189	-1,398	-7.5%	54	-327	-1.87%	57	

※2020年推計値は、国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）』による。



京築地域2市2郡 コーホート変化率(2015年→2020年) 比較一覧

年齢層	築上町		行橋市		豊前市		苅田町		みやこ町		吉富町		上毛町		凡例
	男性	女性													
0~4歳	0.910	0.865	1.045	1.072	1.075	1.069	1.057	1.090	1.102	1.069	0.980	1.030	1.321	1.248	色 コーホート変化率(C) 1 < C 0.9 ≤ C ≤ 1 0.8 < C < 0.9 C ≤ 0.8
5~9歳	0.977	0.965	0.989	1.026	1.047	1.004	1.004	1.080	1.003	1.014	1.007	1.027	1.132	1.039	
10~14歳	0.970	0.925	0.906	0.954	0.851	0.942	1.250	0.981	0.887	0.857	0.900	0.923	0.909	0.841	
15~19歳	1.025	0.780	0.873	0.816	0.826	0.667	1.497	0.954	0.738	0.673	0.829	0.736	0.674	0.655	
20~24歳	0.813	0.825	1.183	1.082	1.050	1.055	1.464	1.155	0.911	0.812	1.162	1.043	1.010	0.761	
25~29歳	0.836	0.896	1.122	1.090	0.934	1.031	1.140	1.055	0.902	0.916	1.185	1.212	1.028	1.378	
30~34歳	0.863	0.946	1.014	1.048	0.980	1.012	1.103	1.003	1.034	1.013	1.006	0.974	1.131	1.121	
35~39歳	0.937	0.961	1.012	1.034	0.977	1.011	1.115	1.030	0.959	1.006	1.043	1.037	1.117	1.000	
40~44歳	0.989	0.969	1.036	1.022	1.035	0.989	0.998	1.002	1.018	0.955	1.000	0.992	0.996	0.979	
45~49歳	0.948	0.971	1.023	1.022	0.968	1.015	1.006	0.971	1.004	0.974	0.971	0.990	1.021	0.962	
50~54歳	0.933	0.979	1.016	0.997	0.981	1.006	1.000	0.998	0.988	0.993	1.012	1.031	1.010	1.093	
55~59歳	0.983	0.993	0.982	0.989	0.997	1.002	0.919	0.989	0.972	1.015	0.954	0.975	1.051	1.041	
60~64歳	0.983	0.981	0.956	0.977	0.976	0.948	0.915	0.982	0.984	0.989	1.010	1.025	0.981	1.013	
65~69歳	0.944	0.965	0.927	0.967	0.922	0.972	0.917	0.956	0.959	0.965	0.933	0.974	0.928	0.987	
70~74歳	0.867	0.942	0.885	0.938	0.875	0.930	0.886	0.917	0.884	0.945	0.934	0.979	0.862	0.911	
75~79歳	0.802	0.892	0.810	0.918	0.772	0.877	0.750	0.861	0.805	0.923	0.882	0.965	0.806	0.931	
80~84歳	0.688	0.765	0.663	0.828	0.582	0.793	0.598	0.738	0.665	0.802	0.625	0.753	0.647	0.782	
85~89歳	0.405	0.646	0.461	0.617	0.434	0.630	0.396	0.538	0.435	0.709	0.407	0.582	0.443	0.561	
90~94歳	0.315	0.395	0.262	0.407	0.281	0.378	0.253	0.440	0.261	0.393	0.000	0.507	0.167	0.271	
95~99歳	0.143	0.097	0.167	0.256	0.000	0.214	0.286	0.203	0.000	0.227	0.250	0.043	0.125	0.250	
100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(参考)

2015総人口	18,587
2020総人口	17,189
人口増減(人)	-1,398
人口増減率	-7.5%

2015総人口	25,940
2020総人口	24,391
人口増減(人)	-1,549
人口増減率	-6.0%

2015総人口	34,963
2020総人口	37,684
人口増減(人)	2,721
人口増減率	7.8%

2015総人口	20,243
2020総人口	18,825
人口増減(人)	-1,418
人口増減率	-7.0%

2015総人口	6,627
2020総人口	6,536
人口増減(人)	-91
人口増減率	-1.4%

2015総人口	7,458
2020総人口	7,251
人口増減(人)	-207
人口増減率	-2.8%



築上町地方創生・人口減少対策本部 ワーキンググループ運営方針

企画財政課企画計画係

1. 設置目的

「築上町地方創生・人口減少対策本部」（以下、「対策本部」と言う。）の下、移住・定住関連施策担当課等の実務者レベルの職員により、全庁横断的に現状分析、新規施策、広報戦略等の検討を行うことを目的とする。

2. 組織構成

構成課	企画財政課、まちづくり振興課、住民生活課、税務課、子育て・健康支援課、産業課、都市政策課、学校教育課
オブザーバー	上記以外の課

3. 事務局

ワーキンググループの庶務は、企画財政課において処理する。

4. 総則

人口減少問題は本町において喫緊かつ最重要の課題である。そのため、限られた財源、人的資源を有効に活用し、各種施策を効果的に実行するとともに、適切な政策評価を行うため、ワーキンググループでは近年国において推進されているEBPM（証拠に基づく政策立案／Evidence Based Policy Making）の考え方に則り、人口減少問題の実態把握、情報の収集と分析、対策本部への事業案等の提案を行うこととする。

5. 所掌

- ・本町における人口減少の実態の分析
- ・新規施策及び広報戦略の検討
- ・上記の事項等についての対策本部への報告及び提案

6. 情報公開

ワーキンググループの議事概要、その他関係資料は、築上町情報公開条例第6条各号のいずれかに該当する場合を除き、町ホームページに公表する。

7. その他

上記のほか、ワーキンググループの運営に関して必要な事項は、企画財政課長が定める。